

改めて「戦略ODA」を問う！ 原発輸出政策破綻後の アベノミクス・インフラ輸出戦略

日立製作所による英ウィルヴァ原発建設が事実上頓挫し、安倍政権が鳴り物入りで進めてきたアベノミクス第3の矢(成長戦略)の中心であったインフラシステム輸出の要-原発輸出政策は破綻しました。原発メーカーは「採算がとれない」ことがその理由としていますが、英国、インドなど世界各国の反原発運動が勝ち取った大きな成果であることもまた明らかです。一方、このインフラシステム輸出戦略において、日本のグローバル企業の海外進出のために、私たちの税金などを原資とするODA(政府開発援助)を利用するという政策がますます露骨になってきています。その具体例がインドのムンバイ-アーメダバード間高速鉄道プロジェクトです。このプロジェクトは、最大で1兆4600億円の円借款(全事業費の81%)で資金調達することが2015年12月、日印首脳会談で合意されたものですが、500kmにも及ぶ沿線には部族が所有する土地もあり、わずかな補償で半強制的に収用されることに対して粘り強い反対運動が展開されています。

分科会では、原発輸出を破綻に追い込んだ成果を確認しつつ、他国の住民に被害を強いる「戦略ODA」を廃止させる討議を行います。ぜひご参加ください。

- 日時：7月28日(日)9時30分~12時
- 会場：星陵会館 会議室3B(右図)
- ① 基調報告「原発輸出政策破綻後の『戦略ODA』反対の意義」(仮題)
- ② 報告「ODAはどうなっているのか、どうすべきなのか」(仮題)
- 参加費：「2019ZENKO in 東京」参加費として
27日(土)の全体集会と合わせた
2日券：一般2500円、学生・障がい者等1500円
1日券：一般1500円、学生・障がい者等1000円



東京都千代田区永田町2-16-2 TEL. 03-3581-5650
東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線永田町駅6番出口徒歩3分
東京メトロ千代田線 国会議事堂前駅5番出口徒歩5分
東京メトロ南北線 溜池山王駅5番出口徒歩5分
東京メトロ銀座線・丸の内線 赤坂見附駅11番出口徒歩7分

連絡先：戦略ODAと原発輸出に反対する市民アクション(コアネット)
三ツ林(090-8382-9487)、山口(090-8455-5352)